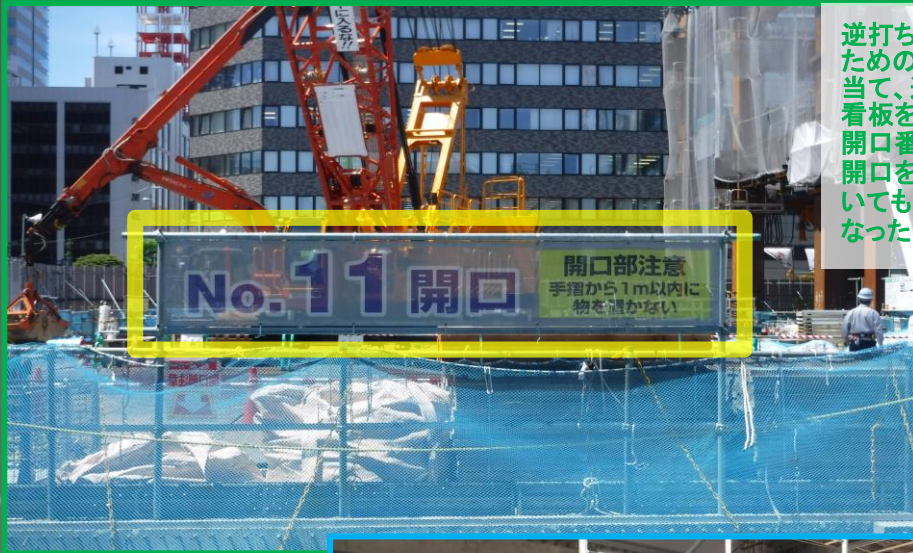


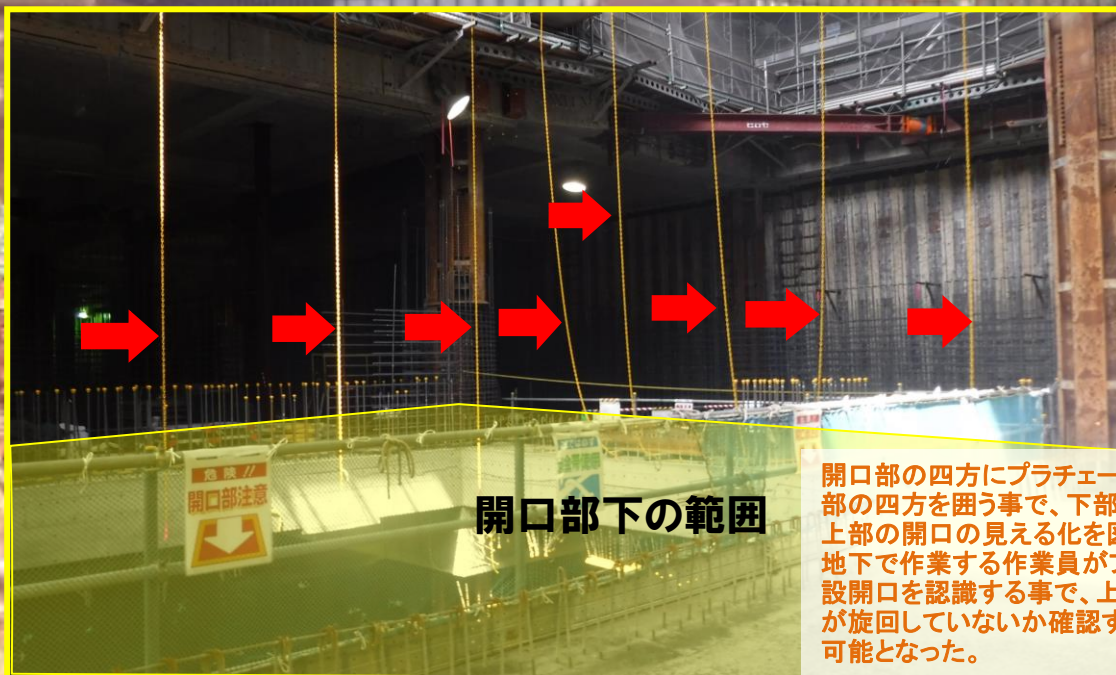
作業所オリジナル看板を用いた開口部・階段・危険個所の『見える化』



逆打ち工事の為、掘削や揚重作業に使用するための床開口が多数ある。各開口に番号を割り当て、遠くからでも確認できる作業所オリジナル看板を製作した。
開口番号を割り当てる事で、朝礼時等に何番の開口を使用するのか番号で周知可能で、誰が聞いてもどの開口を使用するのか認識が可能となった。



敷地が約100m角と広く、昇降階段が複数存在する為、階段に記号を割り当て、遠くからでも確認しやすい表示を行い、昇降階段の見える化を図った。
また、打合せ時にもその階段番号を使用し、通行の可・不可を周知する事が可能となった。



開口部の四方にプラチェーンを吊り下げ、開口部の四方を囲う事で、下部で作業する作業員へ上部の開口の見える化を図った。
地下で作業する作業員がプラチェーンにより仮設開口を認識する事で、上部での作業や吊荷が旋回していないか確認するように促すことが可能となった。